

夜間中学映画「こんばんはⅡ」上映 とトークの集い

日時：2019年11月9日（土）午後1時30分～4時30分（1時受付開始）

会場：明治学院大学白金キャンパス（パレットゾーン白金「アートホール」）

※「桜田通り」東門よりご入場下さい。

内容：夜間中学映画「こんばんはⅡ」（37分）上映

森康行監督や夜間中学卒業生、自主夜間中学関係者等のお話

法令で義務教育が規定されている日本でも、基礎教育を受ける権利が実質的に保障されていない人たちがいました。しかし2016年の「義務教育機会確保法」で年齢・国籍等を問わず全ての人の義務教育を受ける権利と行政の責務が明確になりました。そうした人たちが、自分たちに必要な教育を取り戻そうとする姿を描いた映画「こんばんはⅡ」。映画鑑賞とゲストのトークを通し、なぜ夜間中学が必要なのかを一緒に考えましょう。

入場料：無料です

参加申込：当日先着順受付です

（定員280名）

【主催】夜間中学校と教育を語る会

（連絡先・庄司 070-4323-3855

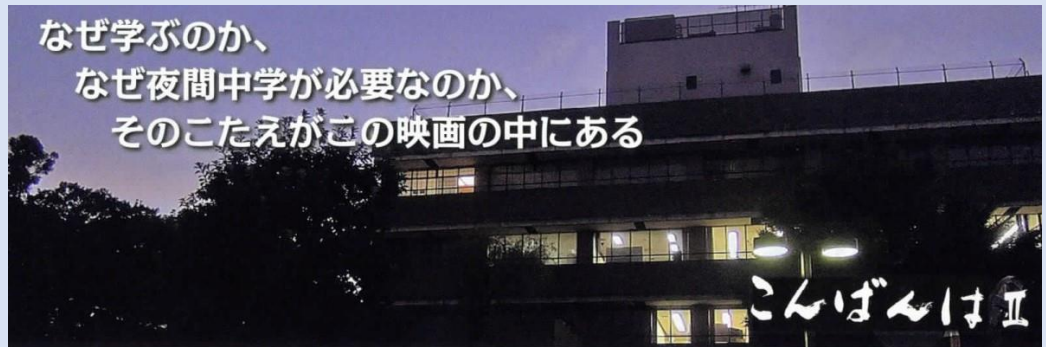
関本 yakancaravan@jcom.zaq.ne.jp）

明治学院大学「内なる国際化」

に対応した人材の育成プロジェクト

・LLTS (Learning to Live Together

Sustainably)プロジェクト



なぜ学ぶのか、
なぜ夜間中学が必要なのか、
そのこたえがこの映画の中にある

生き抜くために

基礎的な学びをしていないために、日常生活の何をするにも不自由であるだけでなく、自分はだめな人間だと思いついていた人が、夜間中学に出会う。人間として胸をはって生き抜くために必要な学びを、ここでつかもうと懸命に努力する人たちの記録であり、学ぶこと、生きることをあらためて問うものでもあります。



誰にでも学ぶ権利がある

何歳になっても、生まれ育ちがどこであっても、実際は学べずに卒業証書だけもらっていても、基礎的な学びを終えていなければ誰にでも学ぶ権利があります。それは人権の核であり、国や自治体はその保障をしなければなりません。しかし、自分にその権利があること、また学齢をこえて学べる場として夜間中学があることを知らない人が圧倒的に多いのです。国は今、「すべての都道府県に少なくとも一つの夜間中学を」と、その設置を目標としました。

こんばんはⅡ

ナレーター 大竹しのぶ

森 康行 監督作品

編
選
制

集
曲
作

古賀 陽一

八重樫 健二

夜間中学校と教育を語る会